

指定校番号	30012	○	学級活動		児童会活動		クラブ活動		学校行事
-------	-------	---	------	--	-------	--	-------	--	------

平成30年度生徒指導集中対策及び生徒指導実践指定校「特別活動の取組事例」

学校名	府中町立府中小学校	校長	竹下比登美	生徒指導主事	林寛
-----	-----------	----	-------	--------	----

取組事例名 『5年生総合的な学習の時間と連動した取組』

取組における育てたい資質・能力

人間関係形成		社会参画		自己実現	
「コミュニケーション能力」	3	「協調性・協働性」	1	「自己肯定感・自己有用感」	2

取組のねらい 『根っこを育てよう』

各教科や総合的な学習の時間とつなぎ、「いのち」をテーマに単元開発を行うことで、集団の一員として、よりよい生活や人間関係を築こうとする実践的な態度を育てる。

取組の具体的内容 『いのちの教育』

- ・防災教育に西日本豪雨の内容を追加して学びを深めた。



- ゲストティーチャーとして小屋浦小 PTA 会長の宮崎さんを招聘し、消防団員として体験された災害時の活動の様子や被害を受けた子どもたちに対するケアについて講話をしていただいた。

- ・防災学習の成果をより多くの人々に伝える取組



- 校区内にある大型ショッピングモールで開催された町主催の防災イベント、『ふちゅう防災王国 ～身につけよう 防災のちから～』に16名の有志が学年を代表して参加し、地域の方々に向けて防災

学習の取組を報告した。(左)

→ 『防災学ぼう会』をPTAとともに開催し、多くの保護者や3年生の児童の前で防災王国の校内報告を行った。さらに各ブースに分かれてグループごとに学習の成果を披露した。この日は中国新聞の取材もあり、児童の取組が紙面で紹介された。(右)

創意工夫 『いのちの本棚』

・課題発見や課題解決の学習ができる情報センターとして、1Fオープンスペースに『いのちの本棚』を開設した。今後は、各階の図書コーナーや『いのちの本棚』が、「情報センター」であると同時に「児童の心の居場所」になるように図書ボランティアの保護者と連携し充実を図っていく。



取組の成果(効果) 『情報発信』

- ・さまざまな機会を通じて生命尊重の大切さについて学んできた成果を、同学年の友達に、他学年のなかまたちに、さらに地域の方々に向けて発信する機会をもつことができた。
- ・自分たちの活動が新聞に取り上げられ、児童にとっても達成感を感じるようになった。
- ・この学年の児童にとって苦手とされてきたコミュニケーション能力が少しずつ高まってきた。

今後の展開 『わたしがわたしになる学校』

・この1年間で学んだ生命尊重の理念を今後の教育目標に反映させ、自分の理想とする姿や志について自分の言葉で語り、その実現に向けた努力を続けていく。

他教科との関わり 『出会いとつながり』

・総合的な学習の時間「いのちを守り、生きていく」と連動して学習を深めてきた。

